

## 市を挙げてガンバ大阪の更なるホームタウン活動を推進する決議

ガンバ大阪は、本市に拠点を構え、平成5年（1993年）のJリーグ（日本プロサッカーリーグ）開幕時から加盟している10クラブの一つとして、これまで数多くの名選手を輩出し、昨年度はヤマザキナビスコカップ優勝、J1リーグ優勝、天皇杯優勝の3冠を達成するなど、好成績を収めてきた。

サッカーは、スポーツの枠を超えて世界中で親しまれている世界共通の文化でもあり、観るものに夢や感動を与えるものである。

スポーツをすることは、健康の増進が図られ、本市が進める「健康長寿のまちづくり」にもつながる。また、本市が掲げる「わが都市（まち）すいたの教育ビジョン」の「一市民、一スポーツ」、「スポーツを通じた地域全体の教育力向上」は、「Jリーグ百年構想」にある「あらゆるスポーツを老若男女が楽しめる豊かな国をめざす」にも合致する。

市立吹田サッカースタジアム完成を機に、より一層のホームタウン活動を進めるガンバ大阪には地域に密着したスポーツクラブとして、今後さらに地元クラブとしての地位を確立していかれることを本市議会としても期待している。

新スタジアムでは、日本代表戦や東京オリンピックの試合が行われる可能性も高く、市民のサッカーへの関心やスポーツをしたいという機運の高まりも予想される。

よって、本市議会は、本市に対し、Jリーグクラブの本拠地がある数少ない地方公共団体の一つとして、ガンバ大阪とより強固な協力関係を築くとともに、市を挙げて更なるホームタウン活動をガンバ大阪と推進するよう強く要望する。

以上、決議する。

平成27年10月19日

吹 田 市 議 会